

設 立 趣 旨 内 容

- 1) 世は高齢化社会です。保健・医療及び福祉面の、より一層の充実が求められています。
- 2) この保健・医療及び福祉の分野に、是非とも必要なのがマンパワーであり、特に、若さあふれる人達です。
- 3) 世はまた少子時代といわれています。それだけに、保健・医療及び福祉の分野を目指す若い力は貴重な存在です。
- 4) 若くて健康な人が高齢者を支え、一方で高齢者の持つ知恵・知識を若者達が受け継ぎ、発展させてゆくことができる社会、それこそが人間が樂く福祉社会、即ち、ウエル・ビーイング (well-being) の姿であろうと考えます。
- 5) 私達は今、小さな組織を立ち上げようとしています。それは保健・医療及び福祉の分野において、専門職として活躍しようとする若人達を応援する組織です。
内容としては、保健・医療及び福祉の分野を目指している神奈川県下在住の高等学校生のうち、母子家庭等経済事情の厳しい家庭環境にありながら、なお進学希望を有する高等学校生10名程度を毎年選抜、一時払い負担の大きい入学金について、助成する事業を行うものです。
- 6) この度、特定非営利活動法人フミエ記念援助会として法人化を図ったのは、この事業は公の立場に立って運営すべきものと判断した結果であって、これによって、微力ながらも社会の健全な発展に寄与したいと、念願したからにほかなりません。
- 7) また、法人名を特定非営利活動法人フミエ記念援助会と名付けることにしたのは、資金提供者である人物の、保健・医療及び福祉への思い入れを表したものであることを付記します。

(神奈川県提出書類から)